

<話を聴く活動>...里山で「琉球音楽」の魅力追求！ 口人の大城敦博さんを訪問しました。



大城さん
(自宅横 里山にて)

ヴァイパー演奏家の大城さんは、沖縄出身で28歳の時に口人に移住されました。そのきっかけは、吉富駅から口司への峠を越えた時、目の前に開けた里山の風景を見て「ここに住みたい！と閃いた事を今も鮮明に覚えている」と語って頂きました。

「住めば都」とここ口人で、生活され14年になります。しかし、大城さんは演奏旅行も多く土日に多い村用に出られず恐縮するが自由に練習出来る環境等有難いとの事でした。大城さんが25年の音楽活動で大切にされている事は「琉球の音楽」と「ヴァイパー」、
「ヴァイパー」とは、米国で開発された電気ヴァイオリンです。大城さんはこのヴァイパーを基に、20年かけて自分の演奏にあった楽器へ改造されてきました。普通より2弦多い6弦の下に各2個計12個のマイクを装着して、音域は5オクターブと広いながら、アコースティックヴァイオリンの繊細さも備えた「世界に一つの楽器」です。
「摩気の活性化」への提言も聴きました。

「摩気地区には美味しい野菜・素晴らしい自然等資源がいっぱいある、これを活かして欲しい」とアドバイスを頂きました。

*編集後記*取材を終え帰ろうとした時「10分時間有りますか？」と聞かれ、プライベート演奏を聴けました。演奏が始まると、今まで優しかった顔が怖いほどの形相に変わって行きました。大城さんは、弾いた演奏をその場で録音する足ペダルを踏んで、自分の音を2段3段と重ねていき、まるで4人の大城さんが弾いている様な演奏でした。たった一人の観客でも真剣に自分の音楽の世界を作り上げる大城さんの姿勢に、私は大ファンになりました。

<NPOの活動報告>

- ・5月27日(土):高山登山道整備と小学校花壇整備
19名が参加して、2班に分かれて作業
- ・5月28日(日):NPO法人摩気高山の郷振興会の年次総会
平成28年度事業及び決算を説明承認し、その後平成29年度の事業計画と予算を承認。
「農村教育民泊」の説明会を聞く
- ・6月 1日(木):8月5日予定の「摩気地区親子の集い」実行委員会
16名が参加して、企画スタート
- ・6月 4日(日):摩気高山登山 →裏面に報告
- ・6月 7日(水):未来塾の漢字出前教室の美山「鶴ヶ岡小」下見調査
- ・6月10日(土):子ども未来塾 体験会
29組の親子が参加して体験学習
- ・6月12日(月):ミツバチ Prjの3回目採蜜→4Lの蜂蜜収穫
- ・6月13日(火):「摩気春秋」誌 第13回編集委員会
- ・6月16日(金):南丹市サポート人材世話人会(No2)
- ・6月19日(月):ミツバチ Prjで、コスモス種まき
- ・6月22日(木):「集落の教科書」作成への基本設計会議
- ・6月22日(木):「摩気地区親子の集い」実行委員会No2

<摩気高山の郷振興会 年次総会>



<子ども未来塾 体験会>



ま け た か や ま
摩気高山新聞(No9) : 高山登山特集

<6月4日:高山登山> …晴天にも恵まれ、2歳から80歳まで60名が元気に参加しました。
 (登山口へ) (頂上から) (赤組 頂上にて)



(青組 頂上にて)



(黄組 頂上にて)



(緑組 頂上にて)



(灰色組 頂上にて)



(大声大会)



(バームクーヘン)



<口司 仏名寺の子ども座禅会>を取材

(子ども座禅会)

(大城さん演奏)

1月取材の口司「仏名寺」で、6月11日に子ども座禅会がありました。子ども20名大人20名が参加して、般若心経の後に座禅会、大城さんの琉球ヴァイオリン、西田区長の腹話術と地域で盛り上がりました。



<6・7月 NPO法人の行事予定>

- ・6月29日(木) : 摩気高山の郷振興会の理事&評議委員会 20:00~
- ・7月 4日(日) : 「摩気春秋」誌の編集委員会(No14) 20:00~
- ・7月 6日(木) : 8/5(土)予定の「摩気地区親子の集い」企画実行委員会(No3) 20:00~旧摩気小
- ・7月 9日(日) : 午前中 子ども未来塾「漢字出前教室」美山 鶴ヶ岡小訪問
- ・7月 9日(日) : 午後 摩気太鼓の福泉寺(竹井)での落慶法要演奏